# 長崎県感染症発生動向調査速報

平成27年第43週　　平成27年10月19日（月）から平成27年10月25日（日）

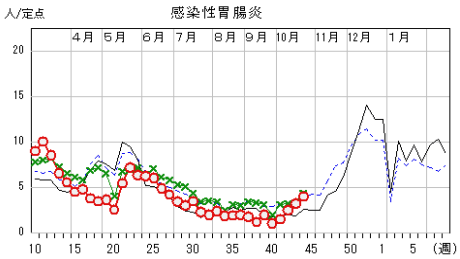
## ☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位３疾患）の発生状況

（１）　感染性胃腸炎

第43週の報告数は176人で、前週より34人多く、 定点当たりの報告数は4.00であった。

年齢別では、１歳（29人）、３歳（25人）、４歳（24人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、県北保健所（7.00）、県央保健所（6.17）、佐世保市保健所（6.00）が多かった。

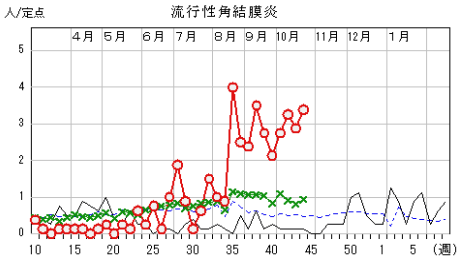



（２）　流行性角結膜炎

第43週の報告数は27人で、前週より4人多く、 定点当たりの報告数は3.38であった。

年齢別では、40～49歳（5人）、30～39歳（4人）、60～69歳（4人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、西彼保健所（11.00）、県央保健所（5.00）、長崎市保健所（3.00）が多かった。

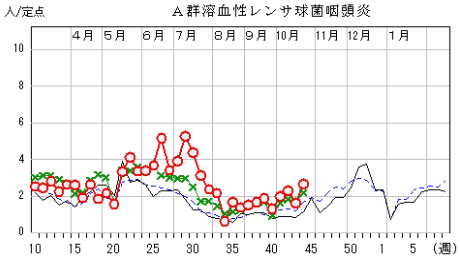



（３）　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第43週の報告数は117人で、前週より46人多く、 定点当たりの報告数は2.66であった。

年齢別では、５歳（18人）、10～14歳（16人）、３歳（13人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、県央保健所（10.33）、対馬保健所（6.00）、県南保健所（4.00）が多かった。




当年(長崎県)　前年(長崎県)
当年( 全国 )　前年( 全国 )

## ☆上位3疾患の概要

【感染性胃腸炎】

第43週の報告数は、前週より34人増加して176人となり、定点当たりの報告数は4.00でした。壱岐及び対馬地区以外の県下全域から報告があがっており、県北地区の7.00は他の地区より報告数が多いので、今後の動向に注意が必要です。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。年齢別に見ると、報告の多くを乳幼児が占めています。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。原因微生物のうち、ロタウイルスについてはすでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。特に乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早目に医療機関を受診させましょう。

【流行性角結膜炎】

第43週の報告数は、前週より4人増加して27人となり、定点当たりの報告数は3.78でした。長崎地区、西彼地区、県央地区、佐世保地区から報告があがっており、西彼地区の11.00は警報レベル「8」に達していますので、今後の動向に注意が必要です。

本疾患は、主にD群のアデノウイルスによる疾患です。涙液や眼脂で汚染された指やタオル類からの接触感染により伝播し、小児からお年寄りの方まで幅広く罹患します。潜伏期は8日から14日で、急に発症し、眼瞼の浮腫、流涙、耳前リンパ節の腫脹を伴います。角膜に炎症が及ぶと透明度が低下することがあります。さらに、新生児や乳幼児では偽膜性結膜炎を発症し、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすので注意が必要です。有効な治療薬はなく、対症療法が基本となります。感染力が強いので、眼分泌物はティッシュペーパーなどで除去し、直接手で触れないように気をつけましょう。また、手洗いを励行し、洗面器やタオルを共有せず、触れた場所をアルコール綿でよく拭くなどして感染防止に努めましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第43週の報告数は、前週より46人増加して117人となり、定点当たりの報告数は2.66でした。壱岐地区、佐世保地区、五島地区以外の地区から報告があがっており、県央地区の10.33は他の地区より高いので、今後の動向に注意が必要です。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁・唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早期に医療機関を受診するとともに、手洗いやうがいを励行し、感染防止に努めましょう。

## ☆トピックス：ノロウイルスによる感染性胃腸炎を予防しましょう

感染性胃腸炎は、例年秋から冬にかけて全国で流行しています。これまで、ノロウイルスGⅡ.4を原因とする胃腸炎が多くを占めていましたが、今年に入り、新しい遺伝子型のノロウイルスGⅡ.17による胃腸炎が多数報告されており、今後大規模な流行が起こる可能性があるため注意が必要です。

糞口感染するウイルスですので、食品衛生上の対策としては、食品の取り扱いに際して入念な手洗いなど衛生管理を徹底すること、食品取扱者には啓発、教育を十分に行う事が大切です。

身近な感染防止策として手洗いの励行は重要です。また吐物など、ウイルスを含む汚染物の処理にも注意が必要です。ウイルス粒子は胃液の酸度（pH 3）や飲料水に含まれる程度の低レベルの塩素には抵抗性を示し、また温度に対しては、60℃程度の熱には抵抗性を示します。したがってウイルス粒子の感染性を奪うには、次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒するか、85℃以上で少なくとも1分以上加熱する必要があるとされています。

厚生労働省HP（感染性胃腸炎（特にノロウイルス）について）：
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/

国立感染症研究所HP（ノロウイルス感染症とは）：
http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/na/norovirus.html

## ◆全数届出の感染症

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核患者、男性（70代・1名、80代・1名）、女性(90代・1名）、計3名の報告がありました。

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症、男性（1歳・1名）女性(70代・1名）計2名の報告がありました。

4類感染症：日本紅斑熱患者、男性（70代）1名の報告がありました。

5類感染症：急性脳炎患者、女性（2歳・1名、4歳・1名）計2名の報告がありました。

## ◆定点把握の対象となる5類感染症

（1）　疾病別・週別発生状況　　（第38～43週、9/14～10/25）

| 疾　患　名 | 定点当たり患者数 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 38週 | 39週 | 40週 | 41週 | 42週 | 43週 |
| | 9/14～ | 9/21～ | 9/28～ | 10/5～ | 10/12～ | 10/19～ |
| インフルエンザ | 0.01 | 0.01 | | 0.01 | 0.01 | 0.03 |
| ＲＳウイルス感染症 | 1.18 | 0.98 | 0.82 | 0.45 | 0.61 | 0.57 |
| 咽頭結膜熱 | 0.39 | 0.23 | 0.16 | 0.14 | 0.14 | 0.23 |
| Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎 | 1.89 | 1.30 | 1.98 | 2.30 | 1.61 | 2.66 |
| 感染性胃腸炎 | 1.98 | 1.07 | 1.52 | 2.48 | 3.23 | 4.00 |
| 水痘 | 0.34 | 0.11 | 0.30 | 0.27 | 0.11 | 0.25 |
| 手足口病 | 1.82 | 1.14 | 1.20 | 0.84 | 0.43 | 0.18 |
| 伝染性紅斑（リンゴ病） | 0.73 | 0.75 | 0.89 | 0.93 | 0.82 | 0.70 |
| 突発性発しん | 0.52 | 0.52 | 0.45 | 0.39 | 0.39 | 0.73 |
| 百日咳 | 0.02 | | | | | |
| ヘルパンギーナ | 0.32 | 0.23 | 0.39 | 0.39 | 0.02 | 0.02 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 1.52 | 1.16 | 1.36 | 1.48 | 1.48 | 1.70 |
| 急性出血性結膜炎 | | | | | | |
| 流行性角結膜炎 | 2.75 | 2.13 | 2.75 | 3.25 | 2.88 | 3.38 |
| 細菌性髄膜炎 | | | | | | |
| 無菌性髄膜炎 | | | | | 0.17 | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.58 | 0.67 | 0.83 | 0.83 | 0.75 | 0.75 |
| ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く） | | | | | | |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | | | | | |

（2）　疾病別・保健所管内別発生状況　　（第43週、10/19～10/25）

| 疾　患　名 | 定点当たり患者数（県・保健所管轄別） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 県 | 佐世保市 | 長崎市 | 壱岐 | 西彼 | 県央 | 県南 | 県北 | 五島 | 上五島 | 対馬 |
| インフルエンザ | 0.03 | 0.09 | | | | | | 0.25 | | | |
| ＲＳウイルス感染症 | 0.57 | 0.17 | 0.80 | 0.50 | 0.25 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | | | |
| 咽頭結膜熱 | 0.23 | 0.50 | 0.10 | | 0.25 | 0.17 | 0.40 | 0.33 | | | 0.50 |
| Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎 | 2.66 | | 0.50 | | 1.50 | 10.33 | 4.00 | 3.67 | | 0.50 | 6.00 |
| 感染性胃腸炎 | 4.00 | 6.00 | 2.60 | | 4.00 | 6.17 | 5.00 | 7.00 | 2.00 | 3.50 | |
| 水痘 | 0.25 | 0.50 | 0.40 | | | | 0.40 | | | | 1.00 |
| 手足口病 | 0.18 | | 0.50 | | | | | 1.00 | | | |
| 伝染性紅斑（リンゴ病） | 0.70 | 0.83 | 1.60 | | | 1.17 | 0.40 | 0.33 | | | |
| 突発性発しん | 0.73 | 1.17 | 0.70 | 0.50 | 1.00 | 0.50 | 1.00 | 1.33 | | | 0.50 |
| 百日咳 | | | | | | | | | | | |
| ヘルパンギーナ | 0.02 | | | | | | | 0.33 | | | |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 1.70 | 1.50 | 0.50 | | 1.50 | 2.00 | 4.60 | 3.67 | | | 4.50 |
| 急性出血性結膜炎 | | | | | | | | | | | |
| 流行性角結膜炎 | 3.38 | 2.00 | 3.00 | | 11.00 | 5.00 | | | | | |
| 細菌性髄膜炎 | | | | | | | | | | | |
| 無菌性髄膜炎 | | | | | | | | | | | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.75 | | 2.00 | | | | | | 3.00 | | |
| ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く） | | | | | | | | | | | |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | | | | | | | | | | |